

# 年間授業計画【新様式】

## 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年

教科担当者：水口 秀樹

使用教科書：（「高校生の美術 I」（日本文教出版））

教科 芸術 の目標：

芸術の幅広い活動を通して、各科目における見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の芸術や芸術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

美術を広く創造として捉えることで感性を高め、美的体験を通して個性豊かな表現と鑑賞力を伸ばし美術文化についての理解を深め、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図や創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞、美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映							
1 学 期	オリエンテーション	自己紹介 美術選択の動機 美術とは何か				○	【知識・技能】 中学までの美術表現を振り返り、自らのイメージや体験などの知識を基に創作することを理解する。 【思考・判断・表現】 美術の造形的な特長を感じ取り、自己体験・価値観を意識し、歴史的造形作品の作者の意図と創造的な在り方について考え、自己の見方や感じ方を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 鑑賞への主体的な取り組みが創作活動の態度をより深めることを意識する。	○	○	○	2
	画材探求① 鉛筆デッサン (モチーフ：手)	鉛筆の持ち方 鉛筆の使い方 形態の把握 調子の取り方 練り消しの効果 描き込みの完成度	○			○	【知識・技能】 鉛筆の調子を自在に調節し、鉛筆による階調を意識して明暗の表現ができています。 【思考・判断・表現】 光源を自ら設定し、それによってできる陰影を構想し、稜線を意識した明暗による立体感で表現ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 手という直接的モチーフから感じる実技の重要さに気づき、より真摯に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	画材探求② 鉛筆写生・水彩絵具による淡彩 (モチーフ：校庭の樹木)	鉛筆による空間表現 線遠近法・空気遠近法の理解 水彩絵具による淡彩の効果	○			○	【知識・技能】 空間表現に必要な遠近法を理解し校庭の奥行きを丁寧に観察し表現ができています。 【思考・判断・表現】 樹木の自然形態の特徴を描写し、余白を含め水彩絵具による淡彩の効果を生かした画面ができています。 【主体的に学習に取り組む態度】 外部写生に興味をもち、気候条件を意識しながら主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	12
	画材探求③ アクリル絵具による文字のデザイン (課題：味覚のイメージ)	レタリングの字体の理解 ・ゴシック体 ・明朝体 ・ナール体 ・楷書体 イメージに沿った配色構成		○		○	【知識・技能】 主要4字体の成り立ちを理解し、選んだ字体の特長を適正に表現ができています。 【思考・判断・表現】 選んだ字体の特性を生かし、味覚のイメージに沿った配色構成を練り、その効果の造形的なよさやデザインの基本が理解できた作品になっている。 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩構成の基本からデザインを主体的・意欲的に学ぶように取り組もうとしている。	○	○	○	12

